

川俣精機株式会社環境報告書

(2006年3月発行)



川俣精機株式会社

目 次

- 1 . 会社概要
- 2 . 基本方針
- 3 . 環境保全基本方針
- 4 . 環境保全中期計画
- 5 . 製品改善の取組み状況
- 6 . 資源有効化の取組み
- 7 . 環境コミュニケーションの取組み
- 8 . 地域行事への参画
- 9 . 地域社会への気配り
- 10 . 異常時対応訓練の取組み

川俣精機(株)会社概要

- 1 . 商 号：川俣精機株式会社
- 2 . 創 立：1943年10月15日(昭和18年)
- 3 . 会社の事業：電気機械器具の製造
及び販売・サ - ビス
- 4 . 資 本 金：275百万円
- 5 . 代 表 者：澤村光仁（環境保全責任者）
- 6 . 従 業 員 数：196人（2006年1月現在）
- 7 . 敷 地：31,560 m²
- 8 . 建 物：11,107 m²

* 1999年 ISO14001 審査登録

* 2005年 ISO14001 2004年度版に更新

川俣精機株式会社

〒960 1454 福島県伊達郡川俣町字八反田 14

TEL024 565 3111 FAX024 565 3608

URL Home rage:<http://www.kawamataseiki.co.jp/>

「安全・環境・遵法・地域貢献は企業のファンダメンタルズ」
川俣精機(株)の基本方針

当社は、「安全・環境・遵法・社会貢献」を基本に
事業活動を進めています。



東芝グループは、「人と、地球の、明日のために。」のスロガンのもと、「人を大切にします。」「豊かな価値を創造します。」「社会に貢献します。」の3つを理念に事業活動を進めております。

当社は、東芝グループの一員として「全ての事業活動は、安全・環境・遵法・地域貢献のファンダメンタルズの基に成立する」ことを明記して進めています。

このスロガンに基づき、次の全社中期環境目的・目標を定め活動を進めています。

1. 法規制の遵守と維持向上
2. 資源の有効活用
3. 廃棄物の削減
4. 環境負荷の低減
5. 製品アセスメントに基づく改善計画の推進
6. グリーン調達推進
7. 取引先への環境方針の周知と指導支援
8. 地域との協調連帯の推進

以上の8つの方針を達成するために環境保全実施計画を定め、地道な活動を継続してまいります。

これらの取組みについては今後も環境報告書を通して情報を公開してまいります。本報告書を通して当社の環境保全への取組み、姿勢、活動の一端をご理解いただき、ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

「当社は、以下の方針に基づき環境保全活動を進めています」

川俣精機(株)環境保全基本方針

川俣精機(株)環境保全基本方針

当社は、「“ かけがいのない地球 ” 環境を、健全な状態で次世代に引きついでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループの一員として環境保全活動を技術的、経済的に可能な範囲で、次により実施します。

環境保全への取組みを、経営の最重要課題の一つとして位置づけ、環境保全システムの継続的な改善・向上に全員で取組みます。

事業活動、製品、サービスに係わる環境側面について、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および同目標を設定して、環境保全活動を実施します。

環境保全に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを順守します。

事業活動、サービスにおいては、規制化学物質の削減、産業廃棄物発生量の低減、電力を中心にした省エネルギーを推進していきます。

製品については、省エネルギー、省資源による環境負荷低減を進めます。

環境に調和した製品作りのためグリーン調達を推進します。環境保全活動を実施するため、取引先などに対して指導・支援を行ないます。

阿武隈の美しい自然を守るため、地域社会との協調・連帯を図って活動します。

2005年4月1日

川俣精機株式会社

締役社長 澤村光仁

「当社は、5年間の達成目標を定め活動を進めています」

川俣精機(株)環境保全中期計画

配布先:(長) (総) [経] (経) [営] (営) (東) (府中) [技] (技管) [製] (生) (製技) (機工) (組) [品] (QA)
 BER-0014
 [様式1]

[全社]環境目的・目標

| 作成・改訂 | 年月日 | 社長 | 環境保全副責任者 | (環)長 |
|-------|-----------|----|----------|------|
| 作成 | 2005年4月1日 | 澤村 | 丹野 | 高橋 |
| 改訂1 | | | | |
| 改訂2 | | | | |
| 改訂3 | | | | |

| 環境目的・環境目標 (2004~2008年度) | 環境目的・環境目標 (2005年度) |
|---|--|
| 1. 法規制、自主規制の遵守と維持向上 (1) 大気汚染の調査と改善の推進 (2) 騒音・振動の測定と改善の推進 (3) 水質汚濁・土壌汚染の調査と改善の推進 | 1. 法規制、自主規制の遵守と維持向上 (1) 大気汚染及び悪臭の測定と改善の推進 (2) 騒音・振動の自主測定と管理改善(朝・夕の稼働自粛) (3) 最終放流口の水質測定、分析の継続 |
| 2. 資源の有効活用 (1) 電力使用量の削減(対'03年度比) 4% 一次中計実績値 2,063,720kwr 削減達成目標値 1,981,200kwr (2) 化石燃料使用量の削減(対'03年度比) 4% 一次中計実績値 184KL 削減達成目標値 178KL (3) 水使用量の削減(対'03年度比) 6% 一次中計実績値 5,000m ³ 削減達成目標値 4,700m ³ (4) 梱包費用(木枠・ダンボール・緩衝材使用量の削減) (対'03年度比) 6% ・梱包総費用 8,750千円/中計 | 2. 資源の有効活用 (1) 電力使用量の削減(対'03年度比) 0% 全社使用量 2,063,720kwr/年 本社使用量 949,310kwr/年 富田使用量 1,114,410kwr/年 (2) 化石燃料使用量の削減(対'03年度比) 0% 全社使用量 184KL/年 本社使用量 108KL/年 富田使用量 76KL/年 (3) 水使用量の削減(対'03年度比) 2% 全社使用量 4,900m ³ /年 本社使用量 2,450m ³ /年 富田使用量 2,450m ³ /年 (4) 梱包費用(木枠・ダンボール・緩衝材使用量の削減) (対'03年度比) 2% ・梱包総費用 9,000千円/年 |
| 3. 廃棄物の削減 (1) 廃棄物排出量の削減(対'03年度比) 20% ・産廃総排出量 一次中計実績値 106t 削減達成目標値 85t (2) 再資源化率(リサイクル率)の向上 80%確保 注)再資源化率=再資源化量÷総排出量 | 3. 廃棄物の削減 (1) 廃棄物排出量の削減(対'03年度比) 9% 廃油 45t/年 廃プラ 9t/年 廃缶 2t/年 他 1t/年(汚泥・ガレキ等) 一般 40t/年(木屑含む) (2) 再資源化率(リサイクル率)の向上 80%確保 注)再資源化率=再資源化量÷総排出量 |
| 4. 環境負荷の削減 (1) 規制化学物質の削減及び代替化(対'03年度比) 6% トルエン・キシレン・アセトン・鉛化合物総使用量 '03年度実績 削減目標値 トルエン 7.6t 7.1t キシレン 2.3t 2.2t アセトン 2.0t 1.9t 鉛化合物 0.8t 0.5t (2) 環境関連施設等のリスク低減 (3) 環境教育の実施 1回/年 ・一般環境教育及び特定作業従事者教育の実施 ・環境保全登録施設異常想定訓練の実施 | 4. 環境負荷の削減 (1) 規制化学物質の削減及び代替化の推進(対'03年度比) 4% トルエン 7.3t/年 キシレン 2.2t/年 アセトン 2.0t/年 鉛化合物 0.8t/年 (2) 環境関連施設等の計画的改善 (3) 環境教育の実施 1回/年 ・一般環境教育及び特定作業従事者教育の計画的実施 ・環境保全登録施設異常想定訓練の実施 |
| 5. 製品アセスメントに基づく改善計画の推進 (1) 省資源化、省エネルギー設計の対象機種を選定と拡大 2機種/年 (2) 製品アセスメント結果に基づく改善計画の推進 ・選定機種の重量・電力・材料等の低減(対'03年度比) 10% | 5. 製品アセスメントに基づく改善計画の推進 (1) 省資源化、省エネルギー設計の対象機種を選定と拡大 2機種/年 (2) 製品アセスメント結果に基づく改善計画の推進 ・選定機種の重量・電力・材料等の低減(対'03年度比) 4% |
| 6. グリーン調達 (1) 取引先の環境保全活動評価 (2) 環境関連物質の管理強化 | 6. グリーン調達 (1) 取引先環境保全の調査依頼と評価 (2) 環境関連物質管理Aランク物質代替の推進 |
| 7. 取引先への環境方針の周知と指導・支援の推進 (1) 取引先への環境方針の周知 (2) 取引先への指導・支援 1回/年 | 7. 取引先への環境方針の周知と指導・支援の推進 (1) 取引先への環境方針の周知徹底 (2) 取引先への指導・支援 1回/年 |
| 8. 地域との協調連帯の推進 (1) 地域社会環境改善 (2) 環境ボランティア活動の推進 2回/年 | 8. 地域との協調連帯の推進 (1) 隣接地域への環境配慮の推進 2回/年 ・騒音・振動・排ガス自主管理・隣接側溝清掃・除草等 (2) 地域の環境活動への積極参加 ・行政・地域の環境活動への積極参加 |

「当社は環境に調和した製品の設計・開発に努めています」

「製品改善の取組み」(省エネ・省資源設計の推進)

'05年度 環境調和型製品の例 小形風力発電機の開発



風力発電機(参考)



発電機部

・特徴

1. 永久磁石形。(ネオジウム磁石採用)
2. 偏平形(薄形)構造。
3. 多極化により低速回転でも発電可能。
4. ダイレクトドライブ方式。
(減速機レス化により、風の力を直接発電機に取り込める為効率が良い)
5. 低騒音。(減速機レス化による)

・発電機定格

20P - 2kW - 370min⁻¹ - 200V
- 5.8A - 62Hz - 連続 - F種

フィールド試験評価中

ECP設計の推進

200Wから2kWシリーズ化計画中

川俣精機株式会社 技術部

'05年度 環境調和型製品の例 掃除機用直流減速電動機(500W)の高效率化

[設計条件]

- ・メンテナンス性(モータとギヤ - の分離)向上。
- ・モータ効率向上、電流値2.6A以下。(DCバッテリー - 電源の高寿命化)

・従来形

1. モータとギヤケース一体形
(メンテナンス時、ギヤ部の分解必要)
2. 電流値: 2.8A (効率68%)

・改良形

1. モータとギヤケース分離
(メンテナンス時、ギヤ部分解不要)
2. 電流値: 2.55A (効率80%)



[具体的手段]

- ・E設計見直し(巻線仕様及びマグネット材質の変更)
- ・メカロスの低減(ブラシ材質、オイルシール部寸法、ギヤ精度、整流子の小径化等見直し)

ECP設計の推進

'05/12月より量産開始

川俣精機株式会社 技術部

「当社は、環境に配慮したりリニューアル事業に取り組んでいます」

「資源有効化の取組み」(過去に捨てていた設備の活用)

RENEWAL工房

いまほど、有資源の活用が叫ばれていることが過去にあったでしょうか。
環境に配慮し限りある資源を有効に使いたいものです。
産業に掛かる設備等と同様です。
ちょっと、手を加えることにより過去に捨てていた設備が
生き返ります。私たちはこの、チョットしたところを援助する
集団です。

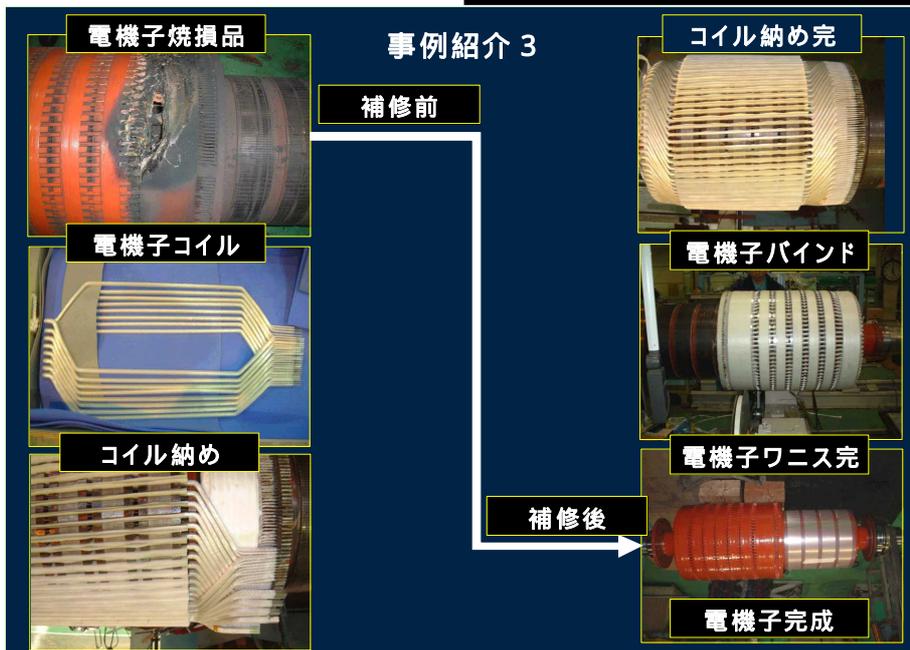
川俣精機株式会社

[事業紹介]

直流機 RENEWAL, 顧客ニーズにお応えします。

1. ハンディタイプの直流機から 1000kw 強まで
電動機, 発電機, 質量 10トまでリカバ-
2. 一般点検・補修(軸受・ブラシ交換, 分解点検)
3. 整流子・旋削及び新製, BH 回り点検補修
4. 各種コイル巻替, 絶縁更新, 特性確認
5. 他社製品, 点検補修, 各種コイル巻替

「直流機以外の製品も
ご相談に応じます」



「地域の皆さんと会話を通じ信頼される企業を目指します」

「環境コミュニケーションの取組み」

当社は、環境保全基本方針で

「阿武隈の美しい自然を守るため、

地域社会との協調・連帯を図って活動します。」

を定め活動しております。

● 具体的には、

1. 毎年地域住民の皆様にご社の環境活動を紹介してまいります。
2. 環境報告書を作成しご社の活動を紹介してまいります。
3. 地域行事に積極的に参加し交流すると共に貢献してまいります。

● 環境省「環境円卓会議」への参加

2005年12月郡山市の「ピックパレットふくしま」において環境省からの推薦を受け、当社のリスクコミュニケーションの取組み状況を報告しました。



これは化学物質の環境リスクについて、国民的参加による取組みを促進することを目的として、市民、産業、行政の代表による化学物質の環境リスクに関する情報の共有および相互理解を促進する場として設置されたものです。



報告後質問に回答する
当社丹野取締役(中央)

当社も、県の指導に基づき

1. 地域とのコミュニケーション
2. 環境活動の公表
3. 地域との交流・貢献の3つの視点から第1段階の取組みを開始しその経過を報告しました。

その中で当社も化学物質として「溶剤・樹脂・塗料」を使用しており「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)にそった排出量等の集計届出、また、段階的に公表を行っていることを報告しました。

「行政・地域行事への積極的な参加を通じ交流を図ってまいります」

「地域との交流・貢献」地域行事への取組み」

- 当社技術者が講師となり、第9回こども科学館が開催されました。
「モータの秘密をさぐろう」～川侯精機株式会社のプロの話进行こう！



川侯町では、物事・事象にたいして「科学する子」を育成し21世紀を担う人間育成に力を入れております。当社は、川侯町の小学校4・5・6年生の「モータの秘密を探ろう」に協賛しモータがなぜ回るかの理論を説明し、また「手作りモータ」に挑戦した皆さんを援助しました。

- 川侯町の母なる川、広瀬川源流探査への参加

2005年8月川侯町聚溪曾主催による「広瀬川源流探査」の呼びかけに参加しました。



・川侯町の中央を流れる広瀬川に合流する高根川(長滝)の源流を探査しました。山を掻き分けようやく源流にたどりつきました。源流付近には綺麗な草花が咲き乱れ、心が洗われるようでした。



「当社は、地域環境への影響を配慮した活動を進めています」

「地域環境への気配り」敷地境界の清掃、整備等

● 敷地境界の清掃・環境整備風景



富田工場立木伐採

景観も良くなり、また、冬期間
県道の凍結もなくなり地域から
喜ばれております。



説明

- ・当社工場は、住宅に隣接しており常に側溝を清潔に保つよう定期的に清掃活動を行っております。
- ・ご近所から夏季窓を空けても虫が入ってこないと感謝されております。



「当社は、非常・異常への備えと防災活動を進めています」

「異常想定訓練の取組み」

● 環境異常対応訓練「給油取引先の皆さんと共に」



- 当社環境異常時対応隊員と給油取引先の皆さんとの合同訓練の風景です。
- 左は、貯油施設の管理方法と右下は最終放流口の対応説明風景です。



● 全従業員参加の防災訓練



- 地震による火災発生を想定し、全従業員が参加し訓練を実施しました。
- 被害を最小に押さえる対応訓練と従業員の所在、安全確認等詳細に渡る訓練の実施風景です。

